



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

RI会長 カルヤン・バネルジー

第2790地区ガバナー

山田 修平

第5分区ガバナー補佐

釜田 英之

第5分区幹事

池田 哲夫

第2790地区地区委員
広報・IT委員会

勝浦RC 関 一憲

クラブ研修委員会

勝浦RC 齋藤 豊久

クラブ社会奉仕委員会

鋸南RC 三橋 美子

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長 関 正己

幹事 漆原 摂子

クラブ会報委員長

渡邊 昌俊

副委員長

齋藤 麻美子

委員

石井 美香子

渡邊 ヒロ子

◆4月27日（金）のプログラム

ゲスト卓話

大多喜町・ALT レベッカ・オニール氏

◆5月のプログラム

4日（金）休会

11日（金）、18日（金）

クラブフォーラム 地区協議会

22日（火）3クラブ合同例会

（鴨川ホテル三日月にて）

25日（金）休会

※3クラブ合同例会へ振替

●会長挨拶 関正己会長

こんにちは。桜も散りこれから若葉の青さが眼にまぶしくしみるすっきりしたすがすがしい季節が訪れます。

先般クラブアドバイザーをお招きし、今年度理事、役員の方々の反省会を行い、またアドバイザーの方々からは貴重なご意見やご好評もいただきました。各理事より反省の言葉や、またやりとげた事などをお聞きし、わがまを言ったにもかかわらず、皆さんがそれぞれ委員の方々を引っ張り頑張っていたことに感謝いたします。

幹事が例会でたびたびチェンジメーカー賞に挑戦しましょう、とアナウンスがあったと思いますが、それを受け委員会が理事を筆頭に頑張っていたと思います。あわや達成するかに思われましたがしかし、残念なことにもどうしてもハードルが高く越えられない問題が有りました。これは理事、委員会の問題ではなく、地域がら、或いはもっと時間が有れば、また国際的なクラブであればクリア出来たのかな、と思います。いずれにしろ今年度これだけ勝浦RCはやりました、と幹事がすべての委員会の資料を編集しガバナー事務所に送りました。どう判断されるかは不明です。しかし皆さん、チェンジメーカー賞は取れなくても、各委員会はそれ以上に頑張ったと評価されるものと思っています。胸を張って下さい。

さて、今年度 会費の引き下げを49年ぶりに行いました。（少し大げさですが、）そしてニコニコで集まった資金は特別会計として本会計とは別にし、クラブ運営以外の奉仕活動に使用するようはっきりさせました。勿論それが本来なのですが。また、ニコニコに寄付する方々ももちろんその思いでしょう。

幸いな事に皆さんのご協力を得まして、先ほど述べました会費引き下げにも関わらず、危惧されていた委員会の質もかえって上がったようにも伺えます。また委員会だけに会費がかたよらずに会員全員に公平にフィードバックできるよう心掛けたつもりです。おかげさまで、まだ最終ではありませんが、今のところ本会計の残高、特別会計の残高もしっかりしている模様です。

そこで、特別会計にもし余裕があるならば一つの提案ですが、委員長：上野 操氏、副委員長：織田 吉郎氏の率いる「ロータリー希望の風」がスタートした今、勝浦RCもこの活動が続く限り「希望の風」をさらにそっと押すさわやかな風に成るよう毎年特別会計から拠出して「目的のはっきりした前例のない大いに意義のある使い方」はどうでしょうか、と考えます。あくまで個人的な考えです。運営費とは異質な会員の好意に基づいた心温まる貴重な浄財です、ニコニコ参加者の全員にお聞きし、正しく有意義に使われなければいけません。アンケート調査をし、理事会に諮りたいと思いますので、皆さんのご審議を宜しくお願いします。

●幹事報告 漆原摂子君

1. 国際R日本事務局より R 平和フェロープログラムの募集

「平和と紛争解決の分野における高いレベルの教育の機会を提供するもので、学費・旅費・生活費・実地研修費を含む完全奨学金が提供される。クラブが地区に推薦し、地区による承認を受けた候補者は、世界競争制によるフェローの選考段階に進む。」締切は本年7月1日。

2. 国際R日本事務局より 5月Rレート1ドル=82円

3. 大原RC 50周年記念例会 5/19(土) 13:30点鐘

出席ご希望の方は本日例会終了までに幹事までお申し出下さい。

4. 館山RCより例会変更のお知らせ

5/2(水) 休会

5. 千倉RCより例会変更のお知らせ

5/4(金) 休会

※5/25(金)は5/22(火)の3クラブ合同例会に振替

●委員会報告

◆関一憲君

次年度ロータリー財団地区委員からということで、次年度に向けて今猛勉強しております。次年度に「未来の夢計画」というのが始まっていくのですが、その準備の年になります。現在の状況ですが、次年度は地区委員の数がだいぶ減りまして半分以下になっているかと思えます。その少数のなかで、どのようにやったらいいのか、知恵のない私がいろいろ聞きながらやっているのですが、財団に関しましては、次年度は変わるということでいろんな方面、各地区で準備をしているようです。

埼玉の地区が、ロータリー財団地区委員がだいたい40人くらいで活動しているみたいです。東京の方では80人くらいの体制だそうです。2790地区は6名でやるということなので、不安と期待が混ざっています。

クラブの方から推薦していただきまして、新しい世界で新しい人達との出会いがあることにまず感謝を申し上げます。そして、鎌田ガバナー補佐が、情報研究会で財団のことを取り上げていただきまして、その報告書が今私達のテキストとなっております。

クラブの方から推薦していただきまして、新しい世界で新しい人達との出会いがあることにまず感謝を申し上げます。そして、鎌田ガバナー補佐が、情報研究会で財団のことを取り上げていただきまして、その報告書が今私達のテキストとなっております。先日も財団の会議があったのですが、寄付金とかポリオに関する活動のことで、勝浦はどの分野でも3本指に入っていたので、とても良い気分で帰ってまいりましたことを報告いたします。

●ニコニコBOX

○配偶者誕生日

◆関一憲君

小林さんじゃないですけども、僕結構料理が得意で、その日は手料理を作って家族でパーティーをしました。以上でございます。

○自主申告

◆関正己君

皆さん、この10ヶ月支えていただきありがとうございます。ここへ出たのは、私の長男がやっと相手を見つけまして、この5月の連休に、九州に一人娘をいただくと言うので、しっかりやってあげないと、向こうのお家とそれから女性を尊重してあげなくてははいけません。今年あるいは来年あたり、池田さんと牧野さんもおめでたいことがあるようです。とにかく、嬉しきでいっぱいにして、この間は横浜の中華料理を相手方の家族と食べるにいき、5時からやって9時まで飲んで喋ってきました。非常に良い雰囲気です。以上でございます。

◆釜田英之君

先週自主申告がなかったものから一週遅れになってしまったのですが、まず新会員の渡辺君の入会おめでとうございます。それから先週のガバナー月信が皆さんのお手元に配布されていると思いますけれども、千葉実行委員長から第5分区IMの報告を載せられています。ぜひご一読していただきたいと思います。

◆千葉正徳君

釜田ガバナー補佐が申しあげましたとおり、他の報告は全てガバナー補佐なのですけれども、なぜか第5分区だけが委員長がやれということで、書かさせていただきました。ちょっと恥ずかしいですけども、みなさん一応目を通してください。

◆鈴木亨君

先日、松の家さんで開催された会合に、私は欠席させていただきました。昔は、「より良き半身、ベターハーフ」こういう言葉が流行りましたが、家内は空気だと言って信頼し合って生きております。途中で抜けてしまって、介護要員がない時に私が出てしまうと何が起きるかわからないのに、失礼しました。

◆漆原摂子君

1万円なのですが、この半分は先週開催しました新旧理事役員反省会の二次会での余ったお金でございます。その節は参加していただいた方々、ありがとうございました。

◆渡辺ヒロ子

私、ライラに参加させていただいたときに、ライラにはロータリアンが二人入ります。その時に一緒にさせていただいたのが、千葉中央ロータリークラブの清田さんという方で、その時にはもちろん名刺交換をさせていただいたのですけれども、あとで伺ったらとても大きな会社の社長さんだったらしく、勝浦と、鴨川、館山にも営業所があるということで勝浦にも頻繁にいらっしゃるそうなのです。「来た時に寄らせていただきます」ということで、早速昨日「何名かで気楽に集まる会だからぜひ」とお誘いがきまして、せっかくだからと思い伺いました。

天平さんにてお食事囲みまして、私以外に5人の方が集まっていたのですが、行ってみたら名前を「親父塾」と呼んでいる会だそうで、とても熱心にお仕事の話などされている中、館山ロータリーの御子神さんという方と、鋸南ロータリーの青木さんという方がい

らして、すごくロータリーについても語り合っ、良い会でした。勝浦に初めて来て、東難のお酒を美味しい美味しいと言って飲んでおりました。これもロータリーに入ったおかげかなと、新しい出会いに感謝して帰ってまいりました。

●ゲスト卓話

◆勝浦市役所・防災課 中村泰輔氏

本日はお招きいただきましてありがとうございます。本来ですと総務課長の方が伺いましてお話するところですが、役不足かと思いますが私の方でお話させていただきますと思います。

防災に関する卓話をするということで、お手元の方にレジメを配らせていただきましたが、昨年3月11日、日本は大きな地震と津波に襲われまして、非常に散々たる被害が出たところです。幸いにも勝浦に関しましては大きな被害はありませんでしたけれども、テレビなどでは悲惨な状況が日夜流れていたのは皆さんもご存知だったと思います。それで、3.11の大災害を教訓といたしまして、市としてどうしたらいいのかということを考えました。まず市長が変わったところで、例年ですと市制懇談会というのは市全域で行っていたのですが、昨年に限っては各地区別で行って市長とお話するというのを初めてやらせていただきまして、その中で自分達が住んでいる場所がどのくらいの高さなのか、どのくらいの津波が来るのか、そういった事のお話がかかなり多かったです。そういったお話が多かったので、一体どうするかという事を検討いたしまして、まず津波の避難に有効な地図を作ろうではないかというところで、まず津波防災マップを計画いたしました。作る際にですね、津波がきたらどうしたらいいのかということですが、まず、高台に逃げることです。近くの高台ということで、これは市役所の職員では市の全地域を網羅することはできませんので、どうしてもそれぞれの地区の皆さんのお力を借りないといけないと、今度は地区ごとにヒアリングをとり、3.11はその地区はどういう状況だったのか、逃げられる高台はあるのか、他に防災に対してどういう興味、疑問があるのか、などそういうことを話し合いました。

その話し合いで、皆さんの地区ごとの第一避難場所を決めることができまして地図の作成をすることになりました。作成についてなのですが、私の中であるキーワード、自分達がどこに住んでいるか、どこに逃げるのか、この2点だけを集中的に考えました。そして作った結果、特色があるのですが海拔ごとに色をつけて表示をしました。逃げる場所についてわかりやすく、場所の高さも表示しました。この色塗りの表示については、県内でもこういう地図を作っているところは少ないと思います。この地図を見て頂きますと、避難経路というのは入っておりません。

それは、この地図を貼っていただいてご家庭で話し合っていたら、それで自分達はどこへ逃げるのだと、どういう道を通っていくのだということを決めて書いていただくために少し大き目に作ってあるのも特徴です。活用法としましては、これを家の一番目立つ場所に貼っていただいて、ご家族で話し合ってください。逃げる場所も、一か所に限定してしまうとそこに行けない場合戸惑ってしまいますので、何パターンも検討していただきたいです。

先ほど話しましたヒアリングの際、私どもから各地区にお願いしたことがあります。それは、各地区で防災訓練をやって頂きたいということです。各地区で、防災訓練をどういう方法でどういう内容で訓練をするかを話し合ってください、それを市の方でお手伝いをしたいという話をしました。市の方が手伝うとは何ぞやという方も居ましたけれども、皆さんで話し合うこと自体が訓練だといった目的でお話をさせていただきました。レジメの2番にございますが「地域コミュニティにおける防災活動」。とかく自分の命についてはまず自分で守る、地域は地域で助け合って守る、それでもできないことに関して公的に助け舟を出すということです。なぜ、自助・共助なのかと言いますと実際に災害が発生いたしますと、まず市や消防署、警察、まったく何もできない状態になってしまうと、これは皆さんもご存知だと思います。そういったところで、まず自分が自分を守るための準備をしていなければ、実際災害で被害に遭われて、これは公は何もできないんだという認識をしていただいで準備をしていただくと、そして個人だけではなく隣・近所で、得意なことをそれぞれが行う事により助け合えるということになります。

これがいわゆる地域コミュニティ、防災コミュニティというところですが、これを組織化したものが自主防災組織といい、勝浦には現在5つの地区に自主防災組織があります。今年度に入りましてそういう組織を設立したいといったお話も2つの地区からいただいております。自主防災組織というのは、その名の通り自分の地域の中でお互いがまず助け合うという組織でございます。実際にどういう活動をされているかといいますと、去年は4つの地区で防災訓練をやっていただきました。内容としては、避難訓練、その他に水消火器による初期消火であったり、三角巾などを使った応急措置の訓練などをしました。皆さまにも、自分の地域に帰られましたら自主防災組織を立ち上げて頂くことに尽力していただきたいと思います。

この3番に「住宅耐震化の重要性と責任」とあるのですが、これは阪神淡路大震災でも問題になったことです。勝浦という市は海があり住宅があつて高台があるという、昔ながらの地形が多いです。そして、隣・近所の建物も非常に密接しています。前面道路も狭いです。そういった状態で震度6強以上の地震がきますとどうなるかと言いますと、日本の家屋はみな玄関向きに倒れますが、道路の入り口と出口でそういう状況が起きた場合、途中に住んでいる方が逃げられないといったことが起きます。家屋が倒れれば、火災が発生する可能性も高いです。そういったところで、住宅の耐震化というのはまず防災の一番重要なお話だということです。お金もないし家も古いけど、自分の家が壊れればそれだけだから良いのだと、そう言う方もよく居られます。しかし、それだけでは済まないということです。自分の家が倒れることによって、逃げられない人が出る、救助に行けなくなる、そういうことが起きてくるのです。なので住宅の耐震化は非常に重要なことになってきます。市では勝浦市のハザードマップ（揺れやすさのマップ）というのも発行しております。ぜひ機会がありましたら一度ご覧になって頂きたいと思います。

次に地震が起きた際の転倒防止ということですが、一番被害に遭われる可能性が多いのは家具の転倒によるものです。

一人暮らしのお年寄りの方の家ですとか、もしそういったところをご近所にございましたら、まず家具の転倒防止に努めていただきたいと思います。

転倒防止と、字面で見ると難しい感じがしますが、そんなに難しいことはありません。例えばタンスでしたら手前の下に段ボールか何かを少し入れておくだけでも、こちら側には倒れてこなくなります。少しの工夫で家具転倒防止はできるということです。

市が今年度に取り組む事業ですが、まず避難時の道路の整備です。高台はありますが、まずお年寄りや上がれないと、道の整備をしないと無理だというお話をよく伺います。なので、今年度は全部で5本の道で、手すりの設置、また山道ですと踏み板の設置をして、誰でも上ることができるようにする工事を予定しております。

2番目に避難経路の図案、非難標識および海拔表示看板の設置です。市内で約90箇所の避難場所を今回設置しております。そこに行くための、市民はもとより観光客の方も簡単に早く非難できるように、標識を設置し、またそこが海拔何mだという目安になるよう海拔表示の看板を設置していく予定です。実は海拔表示の看板なのですが、どうしても避難路表示の方がメインになるので市で設置する場所というのが少なくなってしまうので、もしよろしければ海拔表示にご協力いただければと思います。これは、それぞれの地区にもお願いしようと思っている事でありまして、皆さんの地区の心の拠り所ではないですけど、ここは危ないのか危なくないのか、判断材料になりますので、機会がありましたらご協力いただきたいと思います。最後3番目になりますが、勝浦市地域防災計画ということで、こちらは市・県・国の防災というものはそれぞれの計画によって、どうゆうことをやるというのが定まっております。元は、国の災害対策基本法に基づく、国の防災計画。県については千葉県防災計画。それにぶら下がるといった形で、それぞれの市町村の防災計画というもので、組織体制やいろいろなことが計画で決まっております。3.11を踏まえたうえで、勝浦市の防災計画も今後もまた見直し・修正となっていきます。県の計画は今年の秋を目処に修正が終わりますので、それに準じた形で、早ければ来年度当初に修正が固められればといったところです。

出席報告 4月20日(金)

出席委員会 手塚 明宏 委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
38名	26名	3名	9名	76.32%

欠席：浅野玄航、斎藤麻美子、林重利、前田安彦、吉野裕子、渡辺保、渡辺幸男、渡辺昌俊、渡辺光一

【今週の一言】●人は物事がうまくいかなくなると、すぐに外的要因にしたがる。しかし、周りのせいにしたところで何も解決はしない。原因を内的に考えてすすむべきである。